

デーリー東北 平成30年5月6日 日曜日

八戸

業務通じ地域の安全確保

八戸市と青い森信用金庫(益子政士理事)は2日、地域の安心・安全見守り事業に関する協定を締結した。顧客訪問や窓口業務などを通して、高齢

者や子どもの見守りに努める。同事業は、業務中に高齢者らの異変、道路や公園の異常に気付いた場合に市に通報する。日頃から地域住民と接する機会の多



締結式に臨んだ青い森信用金庫の益子政士理事長(右)と大島修常務理事(左)、小林真市長

市と青い森信金「見守り協定」

い事業者が協力することとで、きめ細やかな見守り活動を展開することができると期待を込めた。

市では事業を開始した2014年以降、新聞販売店やスーパー、郵便局などさまざまな分野の事業者と連携。同信金の締結で協力事業者は計32となった。

この日、市庁で開かれた締結式には益子理事長と大島修常務理事らが出席した。協定書にサインした益子理事長は「職員は絶えず市内を歩くため、さまざまな異常にも気付く機会が多い。地域のため積極的に取り組みたい」と抱負。小林真市長は「重層的に地域を守っていくことが重要。今回の協定で大きなハワードを頂いた」と期待を込めた。

(三浦千尋)